

かわらまち ゆくはし 一般国道201号(香春町～行橋市)における計画段階評価

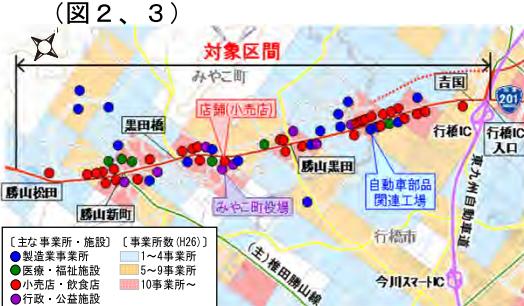
1. 一般国道201号香春町～行橋市の課題

①渋滞発生による速度低下

○主要渋滞箇所周辺では、朝ピーク時を中心に交通渋滞が発生。また、行橋IC入口交差点周辺では終日にわたり旅行速度が低下し、高速道路へのアクセス性が低下。(図1)

②主要交差点や町役場付近で交通事故が多発

○対象区間の死傷事故率は、交差点を中心に県平均を大きく上回っている状況。また、国道201号現道には事業所等が集積し、施設出入り車両も多く、交差点だけではなく単路でも事故が多発する等、対象区間全線の安全確保が課題。(図2、3)



③産業活動への支障

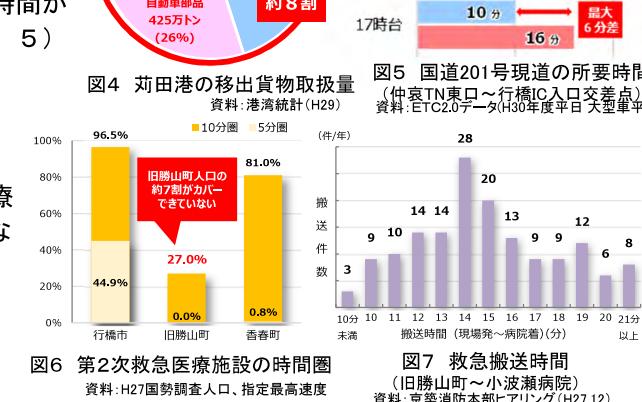
○苅田港の移出貨物は、移出量全国第1位のセメントと自動車関連で約8割。また交通が集中する朝・夕ピーク時では所要時間が安定せず、物流活動に支障。(図4、5)



④救急医療施設への低いアクセス性

○みやこ町勝山地区(旧勝山町)における人口の約7割が第2次救急医療施設の10分圏域をカバーできていない状況。(図6)

○救急搬送時間にバラツキもみられ、迅速、且つ安定した救急搬送の確保が課題。(図7)



2. 原因分析

①2車線の交通容量を上回る交通が集中

○2車線区間の交通容量を上回る2万台/日の交通が集中し渋滞が発生。(図8)
○大型車混入率は、九州管内直轄国道の約1.8倍と高く渋滞に拍車。(図9)

②交通混雑に起因する追突事故が多発

○交通事故の約8割が交通混雑を起因とした追突事故。(図10)



図8 国道201号の交通量と混雑度
(岩原口～勝山新町交差点間)
資料:平成27年全国道路・街路交通情勢調査(H11～H27)

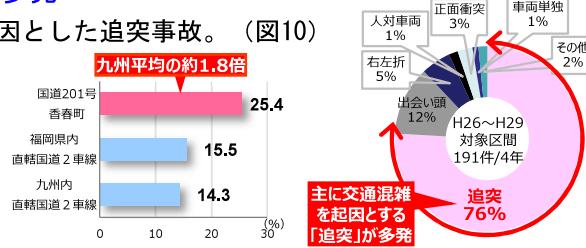


図9 大型車混入率(H27)
資料:平成27年全国道路・街路交通情勢調査

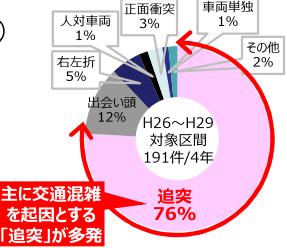


図10 交通事故の要因別割合
資料:イタルダデータ(H26～H29)

③国道201号に物流交通が集中

○対象区間は2車線であるが、苅田港周辺を発着する大型車交通の約4割を国道201号のみで担っている。(図11)

④救急車による追越し行動が困難

○2車線で大型車が多いため渋滞時には救急車両の走行空間がなく、一般車両の追越ししが困難。(写真)



図11 苅田港周辺地区発着の大型車交通流动
資料:ETC2.0の大型車(H30.4～H31.3の平日)

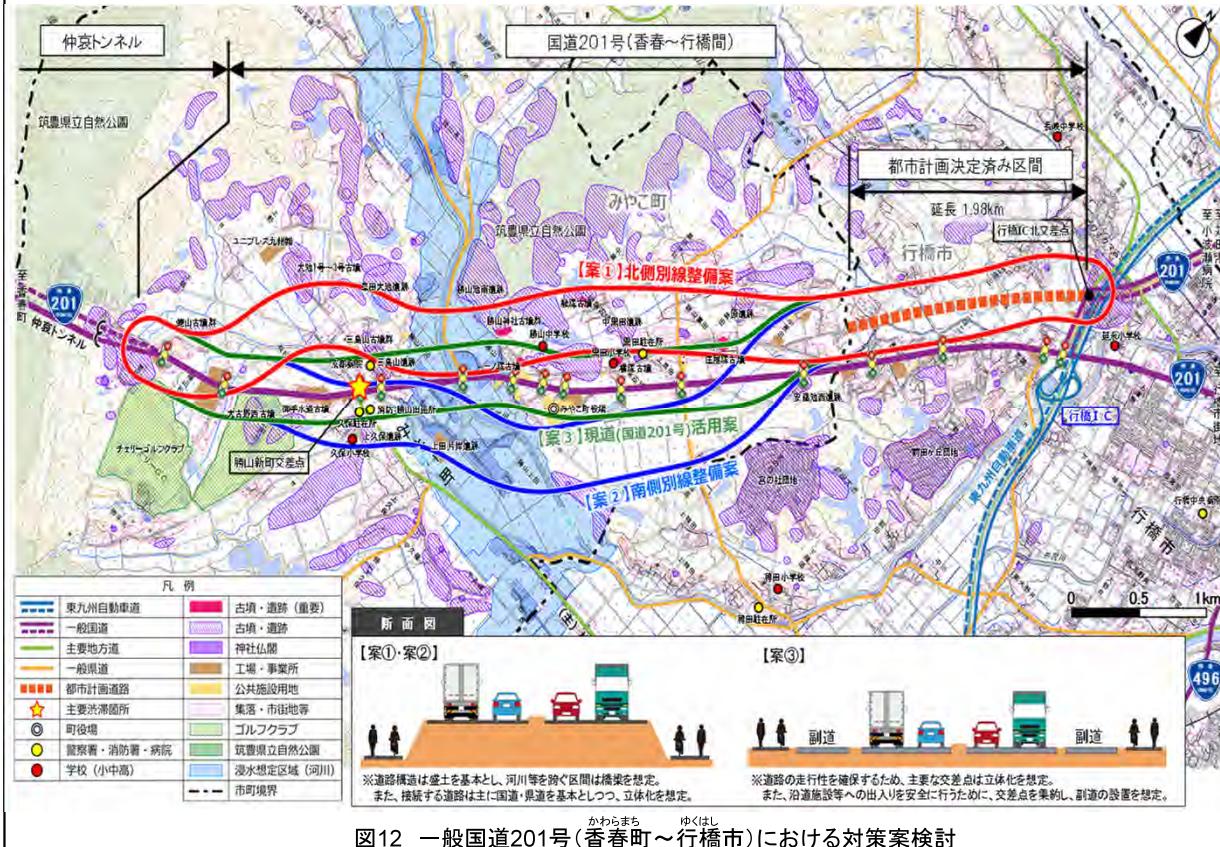
3. 政策目標

- ①定時性・速達性の確保による生活利便性の向上
- ②安全性の確保による生活環境の向上
- ③速達性・定時性確保による産業の支援
- ④医療施設への速達性・走行性の向上

かわらまち ゆくはし 一般国道201号(香春町～行橋市)における計画段階評価

4. 対策案の検討

評価項目		【案①】北側別線整備案		【案②】南側別線整備案		【案③】現道(国道201号)活用案	
項目	評価指標	既設計画を踏まえ国道201号北側で、通過交通を分離する案		遺跡・古墳を可能な限り回避とともに、町の主要施設へ最短で結び、通過交通を分離する案		国道201号を4車線に拡幅し、交通容量の拡大を図ることで、交通混雑緩和を図る案	
		延長 约 7 km		延長 约 7 km		延長 约 7 km	
政策目標	【渋滞】定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	現道の渋滞緩和	△	・通過交通が別線へ転換し、現国道201号の渋滞緩和が図られる ・主要渋滞箇所である勝山新町交差点の渋滞は緩和されるが、香春方面へ椎田勝山線方面の通過交通は依然として残る ・旧豊津町・旧屋川町から行政機能が集積する旧勝山町へのアクセス性は他案に比べ劣る	○	・通過交通が別線へ転換し、現国道201号の渋滞緩和が図られる ・また、主要渋滞箇所である勝山新町交差点の渋滞も緩和する ・旧豊津町・旧屋川町から行政機能が集積する旧勝山町へのアクセス性は他案に比べ優れる	△
	【交通安全】安全性の確保による生活環境の向上	現道の交通事故減少	○	・渋滞緩和により、現国道201号の交通事故減少が見込まれる	○	・渋滞緩和により、現国道201号の交通事故減少が見込まれる	△
	【産業】速達性・信頼性確保による産業の支援	産業拠点間の輸送時間の短縮(安定的な輸送の確保)	○	・産業拠点間の移動時間の短縮が図られる ・別線整備により、現国道201号の代替路が確保される	○	・産業拠点間の移動時間の短縮が図られる ・別線整備により、現国道201号の代替路が確保される	△
	【医療】医療施設への速達性・通行性の向上	救急医療施設沿線の10分で移動可能な人口	○	・第2次医療施設(小波瀬病院)への搬送時間の短縮が図られ、10分圏域人口が拡大する	○	・第2次医療施設(小波瀬病院)への搬送時間の短縮が図られ、10分圏域人口が拡大する 効果は案①・②には劣る	△
道路整備による影響	生活環境	大気質・騒音等	×	・一部集落や市街地を通過するため、生活環境への影響が懸念される	△	・一部集落や市街地を通過するため、生活環境への影響が懸念されるが、その影響は案①・③に比べ小さい	×
	自然環境	重要な動植物の生息・生育地や生態系への影響	△	・重要な種の生息・生育地等を一部通過するため、自然環境への影響が懸念される	○	・重要な種の生息・生育地等を通過していないことから、自然環境への影響は小さい	○
	家屋への影響	移転が必要となる家屋数等	△	・一部集落や市街地を通過するため、家屋・店舗等の移転を伴うが、その影響は少ない	△	・一部集落や市街地を通過するため、家屋・店舗等の移転を伴うが、その影響は少ない	×
	文化財への影響	古墳・遺跡等への支障	×	・多くの古墳・遺跡群が存するエリアを通過するため、影響が大きい	△	・古墳・遺跡群を一部通過するが、その影響は小さく	△
	災害対応	道路の冠水	○	・別線整備で道路の高さを確保することで、現国道201号の冠水時に別線での通行が可能である	○	・別線整備で道路の高さを確保することで、現国道201号の冠水時に別線での通行が可能である	△
	施工性	施工中の交通規制	○	・別線整備であるため、現国道201号への影響は小さい	○	・別線整備であるため、現国道201号への影響は小さい	△
	効果の早期発現	発現の時期	△	・交差点間での段階的な開通が可能であり、開通したところから効果発現が見込める	△	・交差点間での段階的な開通が可能であり、開通したところから効果発現が見込める	△
コスト		整備に要する費用	×	・約490～540億円	△	・約450～500億円	○
約430～480億円							



対応方針：【案②】南側別線整備案による対策が妥当

[計画概要]

- 路線名：一般国道201号
- 区間：福岡県京都郡みやこ町勝山松田～福岡県行橋市吉国
- 概略延長：約 7 km
- 車線数：4 車線
- 種級区分：第3種第1級
- 設計速度：80 km/h
- 概ねのルート：図12【案②】のとおり

(参考) 当該事業の経緯等

[計画段階評価、都市計画決定等の状況]

- R 1. 9 : 第1回九州地方小委員会 ※計画段階評価手続き着手
- R 1.11～R 2.1 : 第1回意見聴取
- R 3. 2 : 第2回九州地方小委員会
- R 3. 4～5 : 第2回意見聴取
- R 3. 6 : 第3回九州地方小委員会
- R 4. 3 : 対応方針(概略ルート・構造)の決定
- R 6.12 : 都市計画決定(福岡県)
- R 7. 1 : 環境影響評価書縦覧完了

[地域の要望等]

- R 5. 7 : みやこ町国道201号整備改良促進期成会が国土交通省に早期事業化を要望
- R 5. 7 : 筑豊横断道路建設促進期成会が国土交通省、財務省に早期事業化を要望
- R 5. 8 : 田川地域国道整備促進期成会が国土交通省に早期事業着手を要望
- R 5. 11 : 筑豊横断道路建設促進期成会が国土交通省、財務省に早期事業化を要望
- R 6. 6 : みやこ町国道201号整備改良促進期成会が国土交通省に早期事業化を要望
- R 6. 7 : 筑豊横断道路建設促進期成会が国土交通省、財務省に早期事業化を要望
- R 6. 8 : 田川地域国道整備促進期成会が国土交通省に早期事業着手を要望
- R 6. 10 : 福岡県が国土交通省に早期事業化を要望
- R 6. 11 : 筑豊横断道路建設促進期成会が国土交通省、財務省に早期事業化を要望
- R 7. 1 : みやこ町国道201号整備改良促進期成会が国土交通省に早期事業化を要望
- R 7. 2 : みやこ町国道201号整備改良促進期成会が国土交通省に早期事業化を要望